

令和 2 年第 1 回市議会定例会において採択となった陳情

番 号	陳 情 第 48 号	受理年月日	平 31. 4. 10
件 名	町内会等が所有・管理する「防犯灯」の損害賠償責任保険に公費で加入することについて		
結 果	令和 2. 3. 18 第 1 回定例会で採択		
付託委員会	市民健康福祉委員会		
<p>(委員会における審査経過)</p> <p>本件は、町内会等が所有・管理する約 42,000 灯の防犯灯について、本市がその設置費用や電気料金に対する補助は行っているものの、維持管理については町内会等任せになっていることや、町内会長等は、地震等を契機に防犯灯が落下、倒壊して人的・物的損害を起こすかもしれないという不安を抱え、事故が発生した場合には損害賠償責任を負うことになること、また、防犯灯の損害賠償責任保険に公費で加入している他都市の事例や、国道、県道及び市道上の街路灯（照明灯）の安全対策や事故救済制度との整合性、一体性を図る上からも、防犯灯の安全対策を第一の課題と捉え、早期に公費で損害賠償責任保険に加入するよう、関係当局に働きかけることを要請されたものである。</p> <p>本件に対する当局の考え方や対応状況等について伺ったところ、本市における防犯灯の現状については、平成 31 年 3 月末現在、設置灯数が 4 万 2,937 灯で、防犯灯を設置し、維持管理している町内会等は 821 団体となっている。なお、本市では、防犯灯の設置費用に対し、明るい照明補助加算額を含め、一灯当たり、小柱付きで防犯灯を設置する場合は 2 万 7,000 円、電柱等へ防犯灯を設置する場合は 1 万 3,000 円、小柱のみを取り替える場合は 1 万 4,000 円の補助を行うとともに、電気料金については、基準の範囲内で全額補助を行っている。</p> <p>また、町内会等 874 団体を対象に行った、取替えを要する防犯灯の有無に関するアンケート結果によると、令和 2 年 1 月 24 日現在、回答があった 605 団体のうち、取替えを要する防犯灯を有する団体は 42 団体で、その内訳は、器具のみが 62 灯、柱のみが 179 灯、器具と柱の両方が 4 灯となっている。</p> <p>このほか、平成 30 年 11 月に実施した中核市における防犯灯の損害賠償責任保険への公費による加入状況調査によると、町内会等が設置・維持管理する防犯灯がある 45 市のうち、公費負担を実施している市は、横須賀市、高松市の 2 市であった。</p> <p>なお、本市が損害賠償責任保険に加入する場合の費用については、防犯灯数を約 43,000 灯、補償内容を対人 1 事故 5 億円、対物 1 事故 2,000 万円とし、保険会社 3 社に年間保険料の見積りを依頼したところ、約 230 万円から 3,700 万円であった。</p> <p>本市としては、近年増加している豪雨などによる防犯灯への影響や、LEDへの切替えによる長寿命化に伴い防犯灯の確認回数が減少していること、アンケート結果などの状況</p>			

を踏まえ、現在、損害賠償責任保険の公費負担について検討を進めているところであるとの説明がなされた。

委員会においては、本件の取扱いについて協議した結果、陳情の趣旨及び当局の対応を了として採択すべきものと決定。